

## 第13回全日本ジュニア・ライフセービング競技会 チーム参加募集要項

Jr

チーム1次要項

第13回全日本ジュニア・ライフセービング競技会  
実行委員会

- 名称 第13回全日本ジュニア・ライフセービング競技会
- 日程 2016年8月27日(土)～8月28日(日)
- 場所 岩井海岸(千葉県南房総市)
- 主催 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
- 後援 (予定)千葉県、千葉県教育委員会、南房総市、南房総市教育委員会、  
公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
- 助成 スポーツ振興くじ助成事業
- 協力 (予定)南房総市観光協会岩井支部、岩井民宿組合、有限会社吉田三郎商店、  
岩井ライフセービングクラブ

### ■競技種目 [個人種目・チーム種目]

#### [個人種目]

- 01 ウェーディングレース(小1.2男女混合)★総合得点への加算なし
- 02 ランスイムラン(小3.4女)
- 03 ランスイムラン(小3.4男)
- 04 ランスイムラン(小5.6女)
- 05 ランスイムラン(小5.6男)
- 06 ニッパーボードレース(小3.4女)
- 07 ニッパーボードレース(小3.4男)
- 08 ニッパーボードレース(小5.6女)
- 09 ニッパーボードレース(小5.6男)
- 10 ビーチフラッグス(1.2男女混合)
- 11 ビーチフラッグス(小3.4女)
- 12 ビーチフラッグス(小3.4男)
- 13 ビーチフラッグス(小5.6女)
- 14 ビーチフラッグス(小5.6男)

#### [チーム種目]

- 15 タップリンリレー(小3.4男女混合) ※1組3名
- 16 タップリンリレー(小5.6女) ※1組3名
- 17 タップリンリレー(小5.6男) ※1組3名
- 18 ニッパーボードリレー(小3.4.5.6男女混合可) ※1組3名

- ※ 出場登録は1名につき2種目までとします。3種目以上に出場する場合は追加参加費(¥1,000/1種目)が必要となります。ただし、チーム種目は除きます。
- ※ チーム種目は、1団体につき各種目・各カテゴリーで1チームまでとします。
- ※ チーム種目のみに出場する選手も「様式B」でエントリーし、参加費もお支払い下さい。
- ※ 競技規則については「日本ライフセービング協会」発行のライフセービング競技規則<2014年版>に則りますが、距離が異なるため以下を参考にしてエントリーをしてください。また、練習を十分おこなってください。(http://jla.gr.jp/lifesaving\_sports/rule.html)

## ■競技規則

原則として、日本ライフセービング協会「ライフセービング競技規則 2014 年版」に則って実施します。その他、必要な事項については、大会実行委員会において決定します。

## ■表彰

<個人種目/チーム種目>

各種目の上位 1 位から 8 位を入賞とします。また、1 位から 3 位の選手を表彰しメダルを授与します。

<チーム総合表彰>

チーム総合得点により上位 1 位から 8 位を入賞とします。なお、1 位から 3 位のチームを表彰し、表彰状を授与します（男子と女子でカテゴリーは分けません）。

## ■得点

決勝の結果に対して個人・チーム種目とも同じ得点を加算します。なお、同種目に同じチームの選手が入賞した場合も以下の通り得点が加算されます。配点は以下の通りです。

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

1. チームの総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の種目の多いチームを、というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は 0 点とします。
3. 総合順位は、実施種目の 70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

## ■タイムテーブル

エントリー集計後、詳細は 2 次要項でお知らせします。

## ■実施状況（中止判断等）の情報発信について

以下にて情報発信の予定です。天候等の状況に応じて変更する場合があります。

- 1) 08 月 26 日（金） 12:00 / 21:00
- 2) 08 月 27 日（土） 安全対策役員会終了後 07:00
- 3) 08 月 28 日（日） 安全対策役員会終了後 07:00

## ■競技器材について

原則として各チームで必要器材をご用意ください。

## ■キャップについて

コンペティションキャップ（あごひも付）は原則として各チームでご用意・着用してください。なお、キャップが用意できない場合は、大会主催者で当日レンタルする予定です。ただし、数に限りがございますので、なるべく各チームでご用意くださいますようお願い申し上げます。

## ■出場確認と代表者会議

出場確認は 8/27 の午前 9 時から、代表者会議は午前 9 時 30 分から、大会本部テントで実施予定です。詳細は 2 次要項でお知らせします。

## ■宿泊について

宿泊が必要なチームは、別紙の申込書を参照し、南房総市観光協会岩井支部に直接お申込みください。

※申込締切： 2016 年 8 月 21 日（日）

## ■駐車場について

会場駐車場の台数に限りがございますので、各チーム乗り合わせでご来場頂くか、宿泊施設をご利用の方は宿泊施設の駐車場をご利用ください。

## ■2 次要項について

エントリーチームには、大会開催日の 1 週間前を目処に 2 次要項をお送りします。様式 A に記載のあるエントリー担当者へ送付させていただきます。

## ■参加費

1名 3,000円 ※保険料を含む。

- ◆追加参加費…個人種目について3種目以上に出場する場合は、追加参加費として1種目ごとに1,000円が必要です。(チーム種目は含みません)

例：2種目参加=3,000円

3種目参加=3,000円+1,000円=4,000円

4種目参加=3,000円+2,000円=5,000円

6種目参加=3,000円+4,000円=7,000円

※チーム種目のみに出場する選手も「申込用紙」でエントリーし参加費もお支払い下さい。

- ◆変更手数料…申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。但し、申込締切時にエントリー(選手登録)されている方のみを対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。また、変更手数料として、1つの変更につき、3,000円が必要です。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付けません。  
例：種目を1つ変更=+3,000円  
種目を2つ変更=+6,000円  
種目を1つ追加(※元々1種目のみエントリーしていた場合)=+3,000円  
種目を1つ追加(※元々2種目エントリーしていた場合)=+4,000円(追加参加費が含まれる)

- ◆参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。

## ■ラッシュガードの着用について

公式競技会・オーシャン競技(サーフ種目)において、選手の安全確保(視認性確保)のため、蛍光色ラッシュベストの着用義務化を2014年9月から実施しています。「ラッシュベストに関する規定」にもとづき、チームまたは個人でご用意いただき着用をお願いいたします。

なお、既にお持ちのラッシュベスト(過去の競技会で受け取った物、蛍光色ラッシュベストと同等の物)でも可能といたします。

新規または追加オーダー等については、下記にお問い合わせください。

株式会社櫻井興業 営業部 <http://www.guard1997.com/page/32>

TEL 0466-86-7703

E-mail [info@guard-shop.com](mailto:info@guard-shop.com)

## ■その他

1. 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがあります。
2. 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがあります。
3. 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがあります。

## ■申込方法 ※詳細は「大会エントリーの手引き」参照

チーム単位または個人単位でお申し込みください。提出物はデータファイル送信と書類の郵送がごさいます。詳細は「大会エントリーの手引き」でご確認の上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。(選手のお名前間違いが多いので、提出前に再確認して下さい)

※ 申込締切： **2016年8月13日(土)**

①メール(データ)提出：2016年8月13日(土)24:00受信分まで [compe@jla.gr.jp](mailto:compe@jla.gr.jp)

②郵送提出：2016年8月13日(土)消印分まで

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
書類関係	①選手申込用紙(A・B・C) エントリーエクセルデータ	メール提出	2016年8月13日(土)24:00 受信分まで
	②選手申込用紙(D)の同意書	郵送提出	2016年8月13日(土)当日消印有効
	③審判員・スタッフ申込用紙 ④(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の申込エクセルデータ	郵送提出またはメール提出  メール提出	2016年8月13日(土)24:00 受信分(メール)、 2016年8月13日(土)当日消印有効(郵送)  2016年8月17日(水)事務局からのエントリーリスト受信時～8月21日(日)24:00 受信分
費用関係	⑤大会参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、 手続き下さい	2016年8月13日(土)当日消印有効
	⑥(エントリーミスによる出場種目の変更希望者のみ) 変更手数料	参加費の振込先と同様の口座	2016年8月21日(日)当日消印有効
注)	<p>※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。</p> <p>※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。</p> <p>※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。</p>		

**日本ライフセービング協会 事務局**  
 〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップビル  
 TEL 03(3459)1445 FAX 03(3459)1446

# 全日本ジュニア・ライフセービング競技会

## 【大会参加規程】

### 1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 選手は、大会初日当日に小学校在籍またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 小学生1年生～6年生で保護者の同意を得た健康な男女。

### 2 チーム構成

2-1 チームは学校もしくはクラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。また、1団体からの出場は1チームとする。

2-2 チーム責任者を1名選出すること。

2-3 合同チーム編成について

2-3.1 複数クラブによる合同1チーム編成での大会参加を認める。

2-3.2 合同チームは本大会のみへの出場を認めるものとする。

2-3.3 合同チームの編成が本大会の主旨に適合しないと実行委員会が判断する場合もある。

2-3.4 チーム名は、クラブ名を連記すること。その順番は、クラブ間で協議して決定すること。なお、大会では便宜上、以下のように表記する。

「合同A : ○○ライフセービングクラブ・○○○小学校」

「合同B : ○○○小学校・○○○ライフセービングクラブ」

2-3.5 合同チームの編成が本大会の主旨に適合しないと実行委員会が判断する場合もある。

### 3 出場登録

3-1 選手は、あらかじめ所定の用紙を用い締切日までに出場種目の登録をしなければならない。

3-2 出場登録は1名につき2種目までとする。ただし、チーム種目は除く。

3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

### 4 ユニフォーム及び競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。水着については、「水着に関する規定」に準じる。

4-3 キャップは、選手の識別や判定のために重要であるため、スタート前に2本の紐をあごの下で結んで選手の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従うこととする。

4-5 合同チームでユニフォームやキャップ等、統一するものを新調する必要はない。

### 5 参加費

5-1 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

5-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。

### 6 競技器材

6-1 競技に使用する器材は原則として参加選手が用意するものとする。

### 7 競技規則

7-1 「ライフセービング競技規則（2014年版）」に則って行う。

7-2 本大会のスタート方法は、2回制（2スタートルール）とする。

7-3 靴の着用は競技中の安全性を考慮し使用可能とする。なお、競技会場（砂浜）の状況に応じて、着用を義務付ける場合もある。

（以上）

## ■ 競技規則 (距離についての変更)

### ◆ ウェーディングレース

#### (1) コース

##### ① ブイの位置

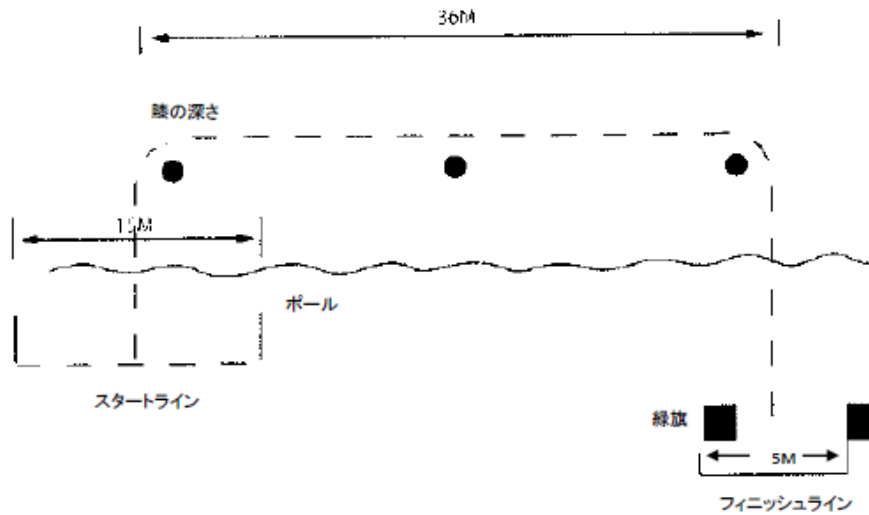
ブイは、深さは膝の位置に設置し、幅は 36m とする。

##### ② スタートライン

スタートラインは、ラインの中間に第 1 ブイが位置するように、水際から 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 15m で、両端にポールを立てる。

##### ③ フィニッシュライン

フィニッシュラインは、ラインの中間に第 3 ブイが位置するように、水際から約 15m の浜に設定する。ラインの長さは約 5m で、両端に緑旗を立てる。



### ◆ ランスイムラン

#### (1) コース

##### ① ブイの位置

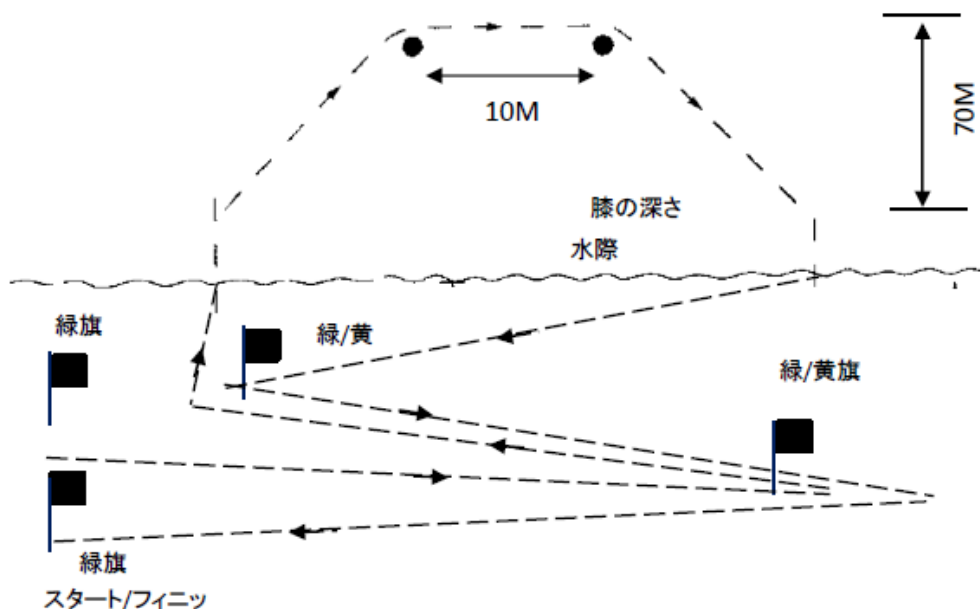
スイミングブイは、最短 70m 沖合に配置し、コースは、約 200m 走り、約 200m 泳ぎ、約 200m 走りゴールするようにする。

##### ② スタート・フィニッシュライン

スタートラインとフィニッシュラインは同じ。ラインの長さは約 40m で、両端に緑旗を立てる。

##### ③ 折返し点

浜を折返す際、折返しの旗は緑/黄旗とする。



## ◆ニッパーボード

### (1) コース

#### ① ブイの位置

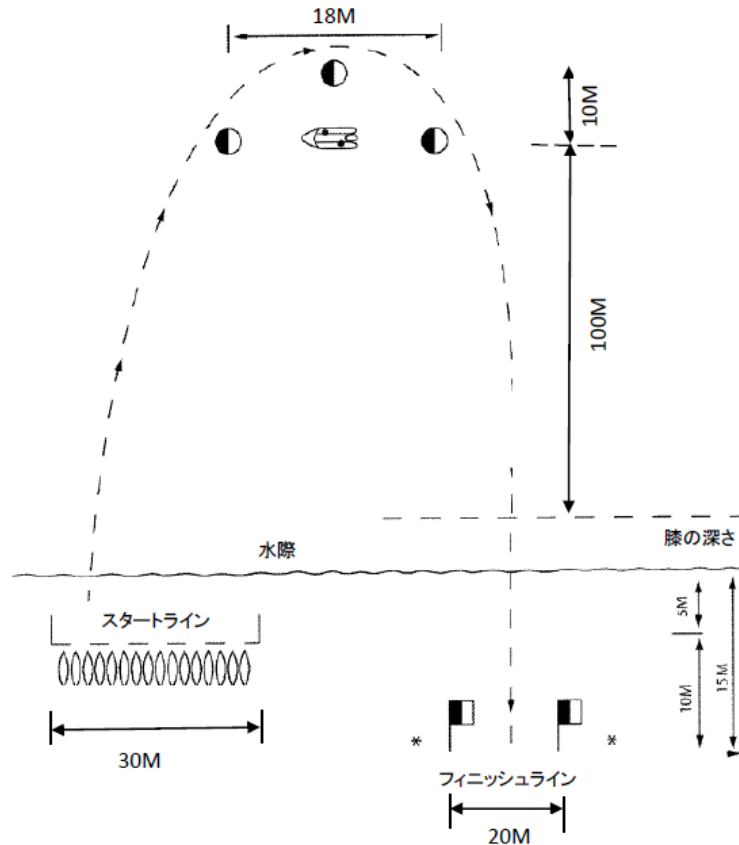
2 個のブイを 100m 沖合に約 18m 間隔で配置する。もう 1 個のブイは、2 個のブイから約 10m 沖合の 2 個のブイの中間に配置し、3 個のブイで三角形をつくる。

#### ② スタートライン

スタートラインは、第 1 ブイがラインの中央から垂直に伸ばした線上に位置するように設置し、水際から約 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 30m で、両端にポールを立てる。

#### ③ フィニッシュライン

フィニッシュラインは、ラインの中間に第 3 ブイが位置するように水際から約 15m に設定する。ラインの長さは約 20m で、両端にポールを設置する。フィニッシュの旗は、白/黒旗とする。



## ◆タップリンリレー

### (1) コース

#### ① ブイの位置

スイミングブイは膝の深さの地点から最短 70m 沖合に配置する。ニッパーボード区間のブイはスイミングブイから約 30m 沖合に約 18m 間隔で 2 個配置する。

#### ② 折返し点

浜の折返し点に旗 2 本を立てる。第 2 折返し旗は最終スイミングブイと、第 1 折返し旗は第 1 スイミングブイと向かい合い、両方とも水際から約 20m の浜に立てる。

#### ③ スタートライン

スタートラインは、ラインの中心が第 1 スイミングブイと向かい合うように水際から約 5m の浜に設定する。ラインの長さは約 30m で、両端にはポールを立てる。

#### ④ チェンジオーバーライン

チェンジオーバーラインはスタートラインと同じ。

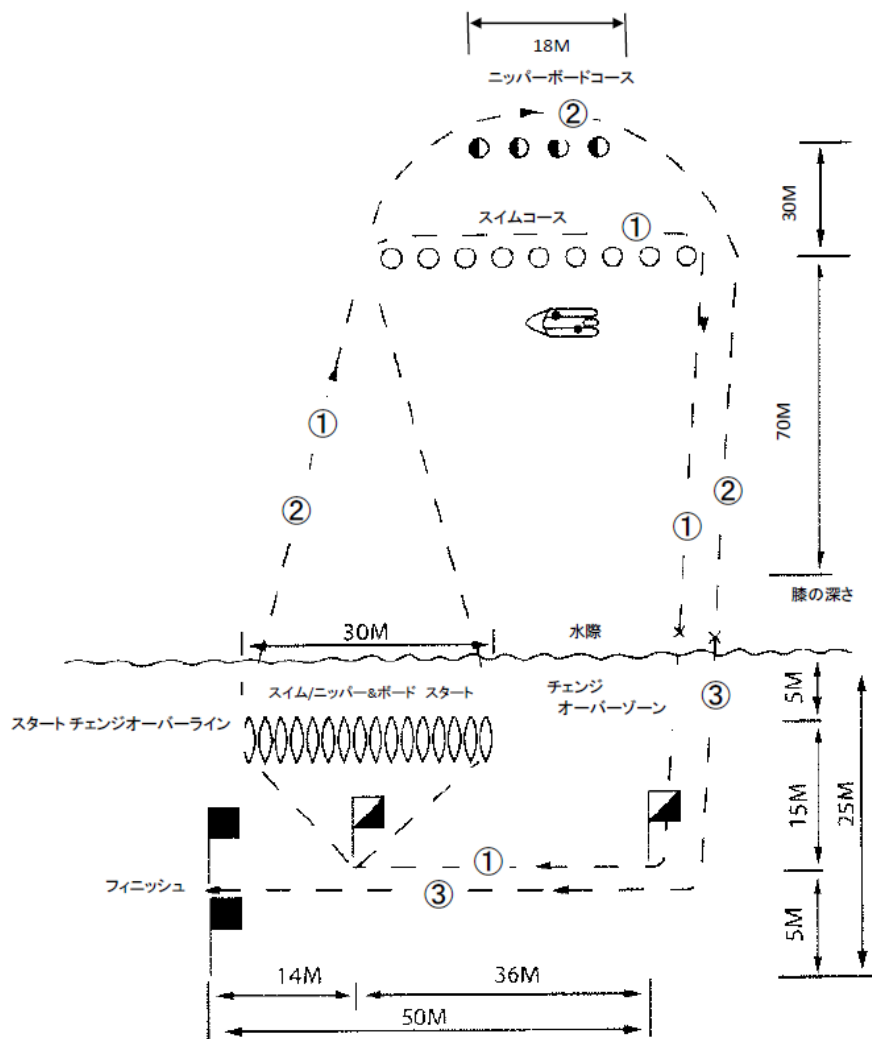
#### ⑤ フィニッシュライン

2 本の旗を 5m の間隔を空けて設置する。フィニッシュラインは 1 本目の折返し旗から約 50m 離れた位置に、水際と垂直の角度で設置する。

### (2) 競技の方法

- ① 本競技は、スイム区間、ニッパーボード区間、ラン区間の合計約 560m のコースで行われる。

- ② タップリンの各区間の順序は、競技会前に抽選によって決定される。ただしラン区間は、最終区間とする。
- ③ 各区間の競技は、原則としてニッパーボードレース、ジュニアサーフレース、ジュニアビーチスプリントに準じる。
- ④ スイム区間：スイム区間は、スタートからチェンジオーバーラインまでに、スイミングブイを回り、浜に戻り 2 本の折返し旗を回る。
- ⑤ ニッパーボード区間：ニッパーボード区間は、スタートからチェンジオーバーラインまでに、スイミングブイおよび 2 個のニッパーボードレースブイを回り、ニッパーボードを水際に残して浜に戻り 2 本の折返し旗を回る。
- ⑥ ラン区間：ラン区間は、第 1 折返し旗を回り、2 本目の折返し旗の陸側を通過し、フィニッシュラインの両端に設置された旗の間を通過しゴールする。
- ⑦ ニッパーボードが損傷した場合は、区間のスタート・チェンジオーバーラインで交換することができる。ただし、他の競技者の進路を妨害してはならない。また、交換する場合、ハンドラーが別のニッパーボードをスタート・チェンジオーバーラインまで運ぶことは認められる。
- ⑧ 競技者は、ニッパーボードから離れ操作できなくなっても、再度それらを確認し操作できれば失格にはならない。ただし、各区間において最終ブイを回るまではニッパーボードを操作していなければならない。最終ブイを回った後は、ニッパーボードから離れたままでも競技を継続することができる。
- ⑨ ハンドラーは、共通競技総則に準じる。
- ⑩ 着順は、フィニッシュラインを越える競技者の胸の位置で判定される。競技者は体を起こした状態でフィニッシュラインを足で越えなければならない。
- ⑪ 競技者は、最終ブイを通過するまではニッパーボードを保持していなければならない。ブイから戻る途中でニッパーボードが離れても失格とはならない。ブイに向かう途中でニッパーボードが離れても失格とはならないが、この場合は、ニッパーボードを回収し、保持した状態でコースの最終ブイを通過し、コースを終了する。





◆ニッパーボードリレー

(1) コース

- ① ブイの位置  
ニッパーボードレースに準じる。
- ② 折返し点  
浜の折返し旗 2 本を水際から約 20m の浜に立てる。
- ③ スタートライン  
ニッパーボードに準じる。
- ④ チェンジオーバーライン  
チェンジオーバーラインはスタートラインと同じ。
- ⑤ フィニッシュライン  
水際に対して垂直で、第 2 折返し旗（緑／黄旗）から約 14m に設定する。ラインの長さは約 5m で、両端に緑旗を立てる。

(2) 競技の方法

- ① 以下を除きニッパーボードレースに準じる。
- ② 第 1 競技者は、ニッパーボードレースと同様の手順でスタートし、全てのブイを左から右へ回って浜へ向かい、にニッパーボードを水際に残し、2 本の折返し旗を回って、指定されたチェンジオーバーラインで待機している第 2 競技者にタッチする。
- ③ 第 2 競技者は、第 1 競技者と同じコースをとり、2 本の折返し旗を回って指定されたチェンジオーバーラインで第 3 競技者にタッチする。
- ④ 第 3 競技者は、第 1、第 2 競技者と同じコースをとり、第 1 折返し旗を回って、第 2 折返し旗の陸側を通過してからフィニッシュラインの両端に設置された 2 本の旗の間を通過する。
- ⑤ 競技者は、ボードから離れたり操作できなくなっても、再度ニッパーボードを確保し操作できれば失格にはならない。ただし、最終ブイを回るまではニッパーボードを漕いでいなければならない。最終ブイを回った後は、ニッパーボードから離れたままでも競技を継続することができる。
- ⑥ ハンドラーは共通競技総則に準じる。
- ⑥ 全ての競技者のスタート位置は、次のように指定された位置とする。第 1 および第 3 競技者は、抽選によって決定した以下のコースとする。

第 1 および第 3 競技者のスタート位置	1	2	3	・・・	14	15	16
第 2 競技者のスタート位置	16	15	14	・・・	3	2	1

それに対して、第 2 競技者は、第 1 および第 3 競技者のコースの左右を入れ替える。例えば、16 チームが参加するレースで、抽選により 1 コースと指定された場合、第 1 競技者は 1 の位置からスタート、第 2 競技者は 16 の位置からスタート、第 3 競技者は 1 の位置からスタートとなる。競技者は、他の競技者のニッパーボードを掴んだり、妨害してはならない。また故意に進路を妨害してはならない。

- ⑦ レース中、競技者のニッパーボードが他のチームまたは競技者の進路を妨害しないよう、同じチームのハンドラー、または審判が承認した他のメンバーが配慮する。浜の混雑とニッパーボードの損傷を回避するため、ニッパーボードは可能な限り速やかに水際から除去しなければならない。
- ⑧ 同一クラブから複数のチームが出場する場合、各チームは識別ができる数字や文字を上衣に入れるか腕や脚に書くこと。
- ⑨ 着順はフィニッシュラインを越える競技者の胸の位置で判定される。競技者は体を起こした状態でフィニッシュラインを足で越えなければならない。

### ◆ビーチフラッグス

#### (1) コース

- ① コースは、スタートラインからバトンまで約 15m とし、競技者が 1.5m の間隔で整列できる幅を確保する。
- ② バトンはスタートラインと平行して、一列に配置し、競技者と競技者の間、又は等間隔に位置するように立てる
- ③ バトンは砂の上に約 2/3 が見えるよう、立てた状態に設置する。スタートライン両端にはポールを 2 本立て緑旗をつける。

